



羽昨市議会議員 北川真知子



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年市議選は本当にお世話になりました。4年ぶりに市議会に戻りました。市民のみなさんの声や願いを市政に届け、その実現のため、これからの4年間精一杯頑張っていきます。

12月議会では、公約に掲げたことや市民の声を9項目にわたって質問しました。4年ぶりに3本の請願が12月議会に提出され、そのうち2本の請願の紹介議員となりました。議会最終日は、議案28件のうち3件について反対、請願3件について賛成の討論を行いました。

日本共産党 羽昨市議 北川まち子

2025年12月議会、請願書が4年ぶりに提出!

【請願】

- 能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める意見書提出を求める請願 ⇒ 全回一致で可決
- OTC類似薬の保険適用除外に反対する意見書の提出を求める請願 ⇒ 継続審査
- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を求める請願 ⇒ 継続審査

【反対討論】

国保税・後期高齢者保険料の負担増に反対

2026年度から創設される子ども・子育て支援金制度に対応するためのシステム改修費の予算に反対しました。

「こども・子育て支援金制度」に必要な財源を、医療保険の加入者から支援金として負担してもらうというものです。18歳以上の加入者の保険料の負担を増やし、しかも、今後3年間は毎年支援金を引き上げることになっています。

市民の望みは高すぎる国民健康保険税の引き下げなど負担軽減です。国に対して支援制度の撤回を求め、子育て支援の充実は市民の負担増でなく社会保障予算の拡充で進めるべきです。

障害のある方の介助者の
 るまいかー
 利用料が無料に!

障がい者の支援のため、るまいかーに同乗する介護者の利用料金を無料にしては」との市民の要望を12月議会で質問しました。

市から「令和8年4月1日より乗るるまいかーについて、障がい者に同乗する介助者の利用料を無料にする」「またるんるんバスについても介助者1名の料金を、無料にする」との答弁がありました。



◀X (旧ツイッター) で
活動を発信中



LINE公式

2月8日投票、総選挙！



くらし 平和 人権

国民のために
ブレずにはたらく

日本共産党 伸ばしてください！

- 1.消費税5%で年12万円の減税
- 2.物価上昇はねのける大幅賃上げ
- 3.大軍拡NO！戦争はだめ

制度解説

衆院選挙は2回投票します。

1

石川
3区は

南しょうじ

2

比例
代表は

日本共産党

2025年12月議会 質問項目

・ 介護現場の人手不足 対策急げ

介護事業所の人手不足は深刻です。事業所の閉鎖や廃業で必要な介護が受けられない事態が目の前に迫ってきています。介護の担い手確保に向けた対策と経営難への財政支援を求めました。

回答

①2026年2月に介護人材に対する実態調査をする。2025年の調査では、回答のあった14か所の事業所のうち12か所で人材不足や経営状況の課題あり、厳しい状況であることを認識している。

②国の補正予算を受け、職員の賃上げや物価高騰による支援を県が実施する。市としても人材確保の財政支援について検討していきたい。

・ 被災者支援について

能登半島地震から2年が経過した。被災者の生活や生業の再建は道半ばであることを念頭に、災害公営住宅の家賃の減免とモデルルームの設置、医療費と介護サービス利用料の免除措置の再開、公費解体した自宅用地の固定資産税減免措置の延長を求めた。

回答

①復興基金を活用しての家賃減免は考えていない。モデルルームは設置しない。

②医療費の免除措置再開は検討していない。

③固定資産税の減免延長は、国の「令和8年度税制大綱」を待って対応。

⇒国は2026年、2027年について減免延長の予定

・ 国保税引き下げ・こどもの均等割廃止を

国保税は2022年から毎年引き上げられています。2025年度の国保税は、4年前より13%引きあげられています。そこで、国保税引き上げの理由、2026年度の国保税増収の見込み、子どもの均等割廃止の為の予算について聞きました。

回答

①国民健康保険の財政運営は都道府県単位であり石川県が示す標準保険料率の引き上げに合わせたことが理由である。

②2026年度の国保税収入対前年度比見込み額は、税率を据え置いた場合、全体として同程度の額を見込んでいる。なを、2026年度から新たに子ども・子育て支援納付金の増加を見込んでいる。

③子どもの「均等割」廃止に必要な予算は100世帯、450万円。